

# OOHアナリティクスを導入、 より信頼度の高い広告媒体へ。

今や新宿のランドマークのひとつとなっている、100㎡×3面の大型LEDビジョンと全長52mに及ぶ文字放送用ビジョンの複合型屋外デジタルサイネージ「ユニカビジョン」(施主・運営：(株)ユニカ)。同ビジョンがリニューアルされ、2024年11月1日より本格的な運用が開始された。

11月1日より本運用が開始された新生「ユニカビジョン」。  
BLACK LENS SMD採用でコントラストが向上している。



## リボンビジョンも 3面LEDビジョン同様、 10mmピッチへ高精細化

ユニカビジョンは2010年、日本最大級の街頭ビジョンとして誕生。スタート当初より、日本や世界のエンタメを届けるビジョンとして、音楽の特集番組をはじめ、ビルボードチャートやシネマチャート、イベントの公演情報など様々な番組を自主制作で届けている。番組の反響からも多い時は1,000名を超す人がビジョン前に集まるなど、“音楽好きが集まるビジョン”として知名度も向上してきた。

ユニカは『屋外メディアとしてペペ前広場と連動したイベント連動の放映や、SNSとの連動、またユニカビジョン用のアプリを開発して楽しんでいただくな

ど、これまでに1,000以上の番組を制作、放映。既存ビジョンとは一線を画す運営を行ってきました。2020年にはビジョンのリニューアルを検討していたのですが、コロナ禍により延期。そして今年、リニューアルの本格検討に入りました」と、ユニカビジョンのリプレイスまでの経緯を語る。

今回採用された新しいLEDビジョンはセキシン電機社製。LED素子はBLACK LENS SMDでコントラストが向上した。

また、ユニカビジョンはこれまでも10mmピッチのLEDを採用していたが、下部にあるリボンビジョンは23mmピッチで、文字ニュースのみを放映してきた。今回のリニューアルではリボンビジョンも3面LEDビジョン同様、10mmピッチを採用。そのため、画質が向上し、

映像やロゴなどを放映することが可能となった。3画面のビジョンと連動するバナー広告の放映、4画面を連動させた映像の放映など、放映プランも多彩となっている。

さらにリアルタイムで人流データを解析できるOOHアナリティクスも導入し、より信頼度の高い広告媒体へと進化した。

- 施主・運営  
(株)ユニカ
- 製品製造  
セキシン電機(株)
- 設置工事  
セキシンエレテックス(株)

問い合わせ  
(株)ユニカ  
不動産事業本部 デジタルソリューション部  
Tel.03-3354-2233  
<https://www.yunikavision.jp>

今回のリニューアルではリボンビジョンも3面LEDビジョン同様、10mmピッチを採用。画質が向上し、映像やロゴなども放映することが可能となった。

